

株式会社マルマエ

2026年8月期

第1四半期 決算 補足資料

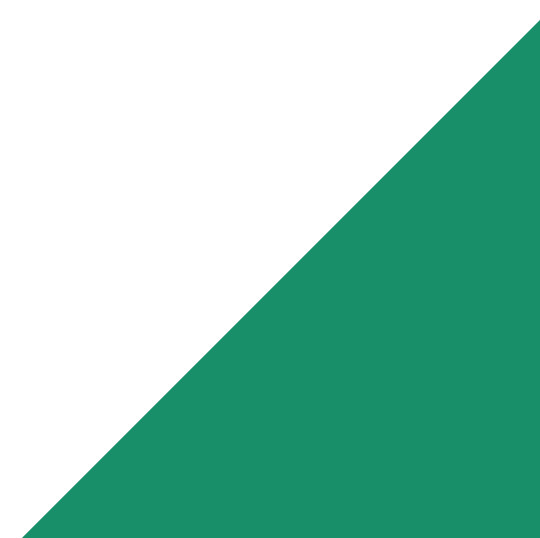
2025年12月26日

道を究め、未知に挑む。

marumae

総合力で未来を拓く

半導体・FPD製造装置 真空パーツメーカー



1. 決算概要

PL分析

PL

	2025年8月期 第1四半期累計期間 (単体)		2026年8月期 第1四半期累計期間 (連結)		
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)	対前年同期 増減率 (%)
売上高	1,911	100.0	4,244	100.0	122.0
売上原価	1,264	66.1	2,912	68.6	130.3
売上総利益	647	33.9	1,332	31.4	105.8
販売管理費	202	10.6	631	14.9	211.6
営業利益	444	23.3	701	16.5	57.7
経常利益	443	23.2	655	15.4	47.6
特別損益	—	—	35	0.8	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益※1	308	16.1	434	10.2	41.0
EPS (円)	24.35	—	34.32	—	—

※1・・・2025年8月期は「当期純利益」

※対前年同期増減率は2025年8月期の個別業績に対する数値を参考値として記載

Point

売上高

- 4,244**百万円
(セグメント別の詳細はP5～)

売上 原価

- 材料費：**1,269**百万円
- 外注加工費：**362**百万円
- 労務費：**730**百万円
- 減価償却費：**253**百万円

販売 管理費

- 販管人件費：**279**百万円
- のれん償却額：**75**百万円
- 研究開発費：**43**百万円

営業外 費用

- 支払利息：**54**百万円

特別 利益

- 補助金収入：**35**百万円

1. 決算概要

B/S分析

B/S

(百万円)

	2025年8月期 会計年度末	2026年8月期 第1四半期末
流動資産	10,477	10,752
現金及び預金	4,252	4,178
売上債権 (受取手形・売掛金・電子記録債権)	3,407	3,497
固定資産	14,945	15,007
土地・建物及び構築物（純額）	4,687	4,859
機械装置及び運搬具（純額）	4,387	4,255
のれん	4,696	4,621
流動負債	4,623	4,993
有利子負債（短期）※	1,506	1,502
固定負債	12,648	12,463
長期借入金	12,000	11,835
負債合計	17,271	17,456
純資産合計	8,151	8,302
総資産	25,423	25,759

※ 有利子負債（短期）：短期借入金 + 1年内返済予定の長期借入金

Point

資産 25,759百万円

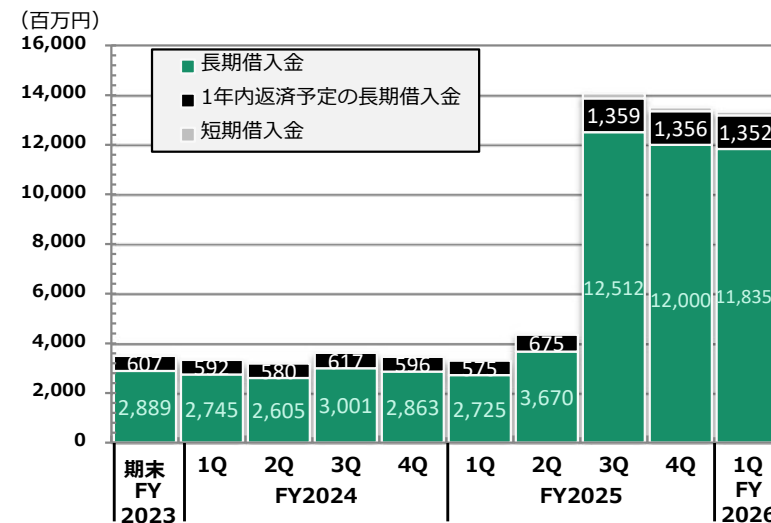
- 有形固定資産：9,642百万円
- 現金及び預金：4,178百万円
- のれん：4,621百万円

負債 17,456百万円

- 長期借入金：11,835百万円
- 買掛金：1,678百万円

純資産 8,302百万円

- 利益剰余金：5,512百万円
- 自己資本比率
32.1% → 32.2%



2. セグメント情報

セグメント分類



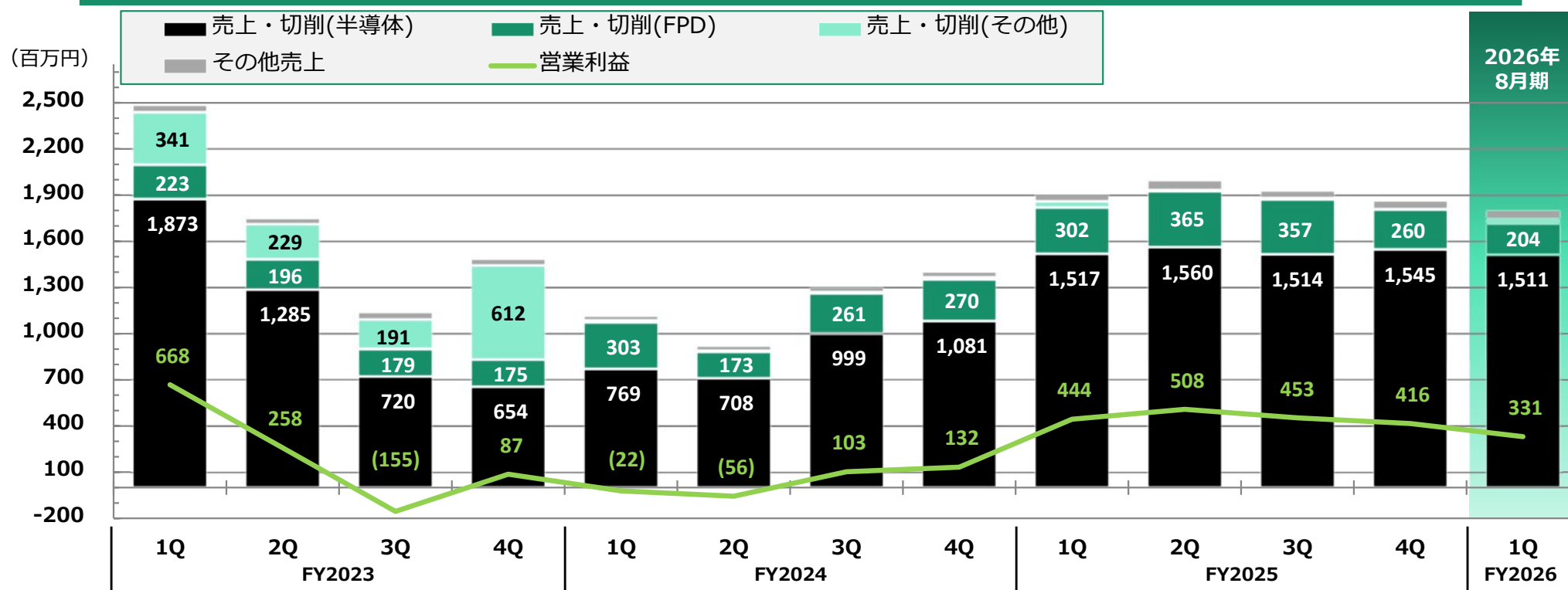
- マルマエ 事業
- 半導体・FPD・その他



- KMAC (KMアルミニウム) 事業
- IT器材・半導体装置部材・基礎素材

3. セグメント別概況

四半期業績の推移（精密部品事業）



Point

半導体分野

- 1,511**百万円（対前年同期：0.4%減）
- ・ 期初に一時的な停滞あるも回復し上り調子
 - ・ 納期前倒し要求出始め、数量も増加傾向

FPD分野

- 204**百万円（対前年同期：32.3%減）
- ・ 停滞中。年末まで停滞し、年明け回復見込

その他分野

- 29**百万円（対前年同期：28.2%減）
- ・ 同業者と協調し防衛省案件の受注活動進める

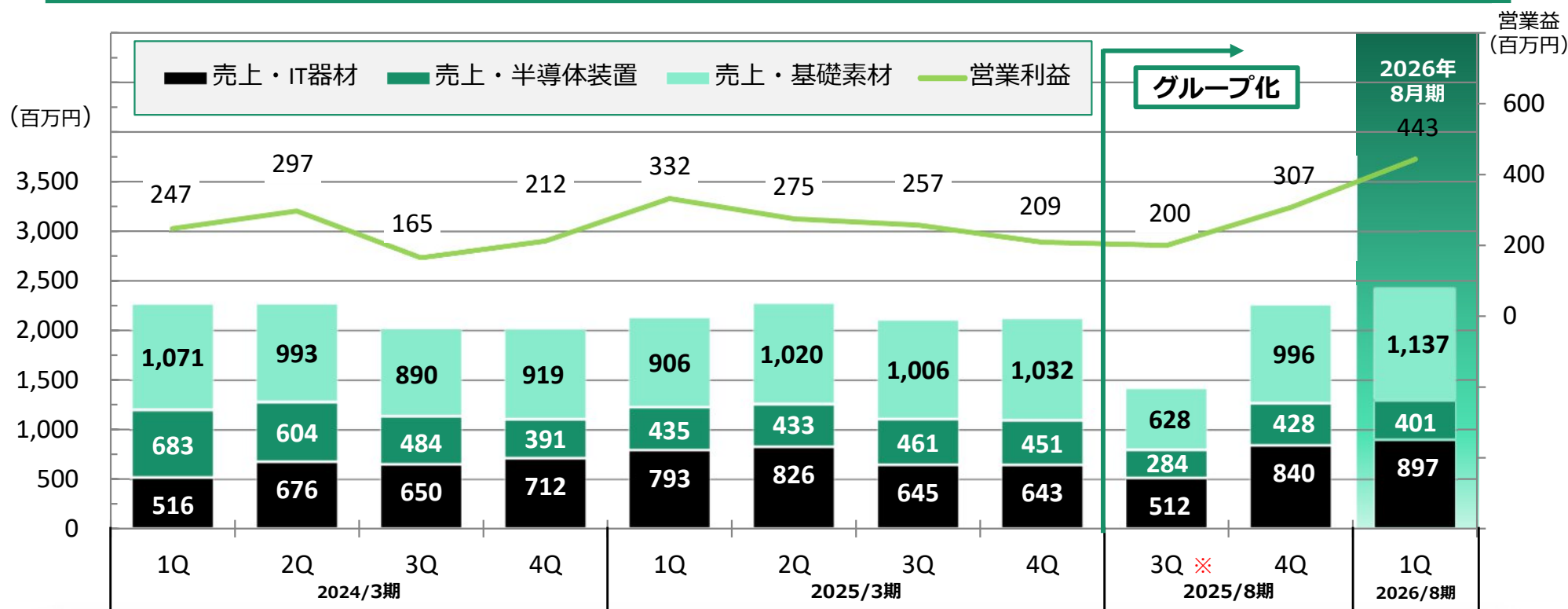
①売上高は、半導体分野好調継続

②損益面はFPD低迷でスロースタート

- ・ 前期末比で受注損失引当金等は5百万円減少（改善）
- ・ 費用は抑制も売上の期初低迷で利益減

3. セグメント別概況

四半期業績の推移（機能材料事業）



Point

※前期3Q売上は4月5月の2か月間の数値

IT器材

897百万円

- ・ 超高純度のターゲット材好調
メモリ向けが伸長
- ・ CVD向け消耗品も堅調に推移

半導体 装置部材

401百万円

- ・ 真空チャンバー客先在庫も一部残し解消の目途
- ・ 市場回復で2026年2月から正常化へと前倒し

基礎 素材

1,137百万円

- ・ 高純度品は前倒し納入・小口停滞

① 売上高は、半導体工場の高稼働に伴い伸張

② 損益面はIT器材好調で改善続く

- ・ 当初想定よりも好調な推移
- ・ 高付加価値品の売上好調で利益押上げ

4. 2026年8月期の業績予想

当期の見通し（損益・設備投資・固定費要因）

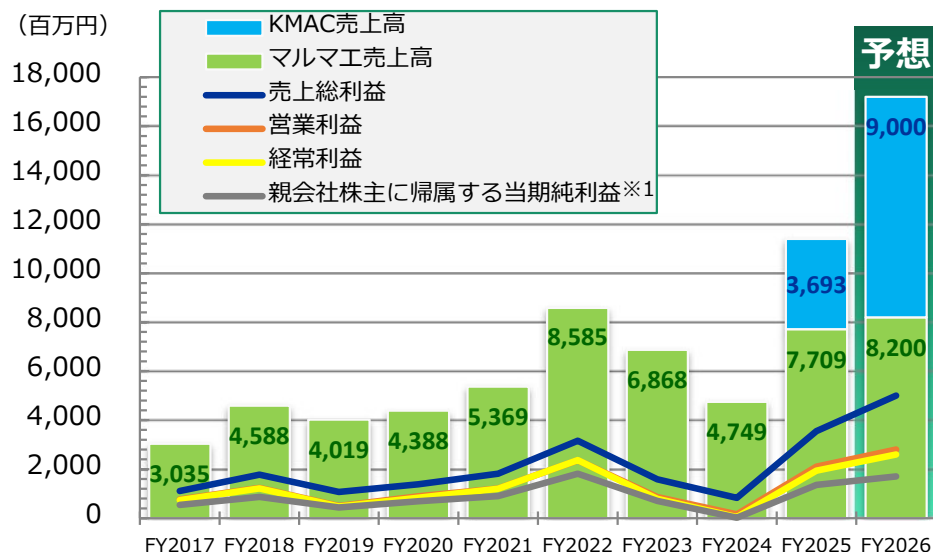
業績予想

2026年8月期 連結業績予想	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主 に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 純利益(円)
第2四半期(累計)	8,100	1,200	1,100	700	55.28
通期	17,200	2,800	2,600	1,700	134.26

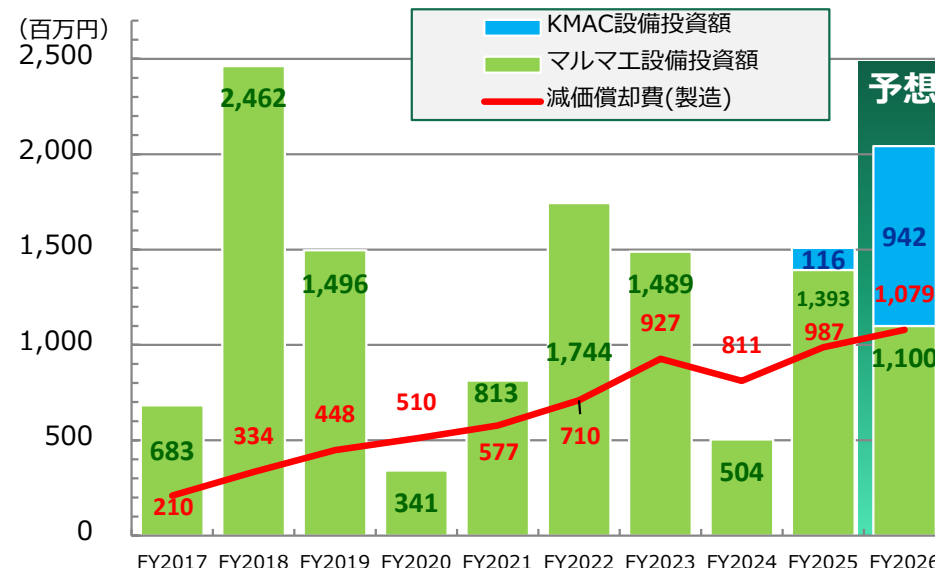
Point

- ✓ '25年12月に入り、'26WFE見通しが急拡大
'26WFEに占める中国向け比率は低下傾向
- ✓ KMAC設備投資は工場建屋改修や検査分析装置
- ✓ 当期よりマルマ工償却は定額法へ統一
- ✓ マルマ工設備は余力あり、開発投資以外は抑制

当期はKMAC連結フル寄与。計画に対し順調な滑り出し



※1・・・FY2024以前は「当期純利益」
 ※FY2024以前は単体決算数値
 ※FY2025KMAC事業は2025年4月～2025年8月の数値

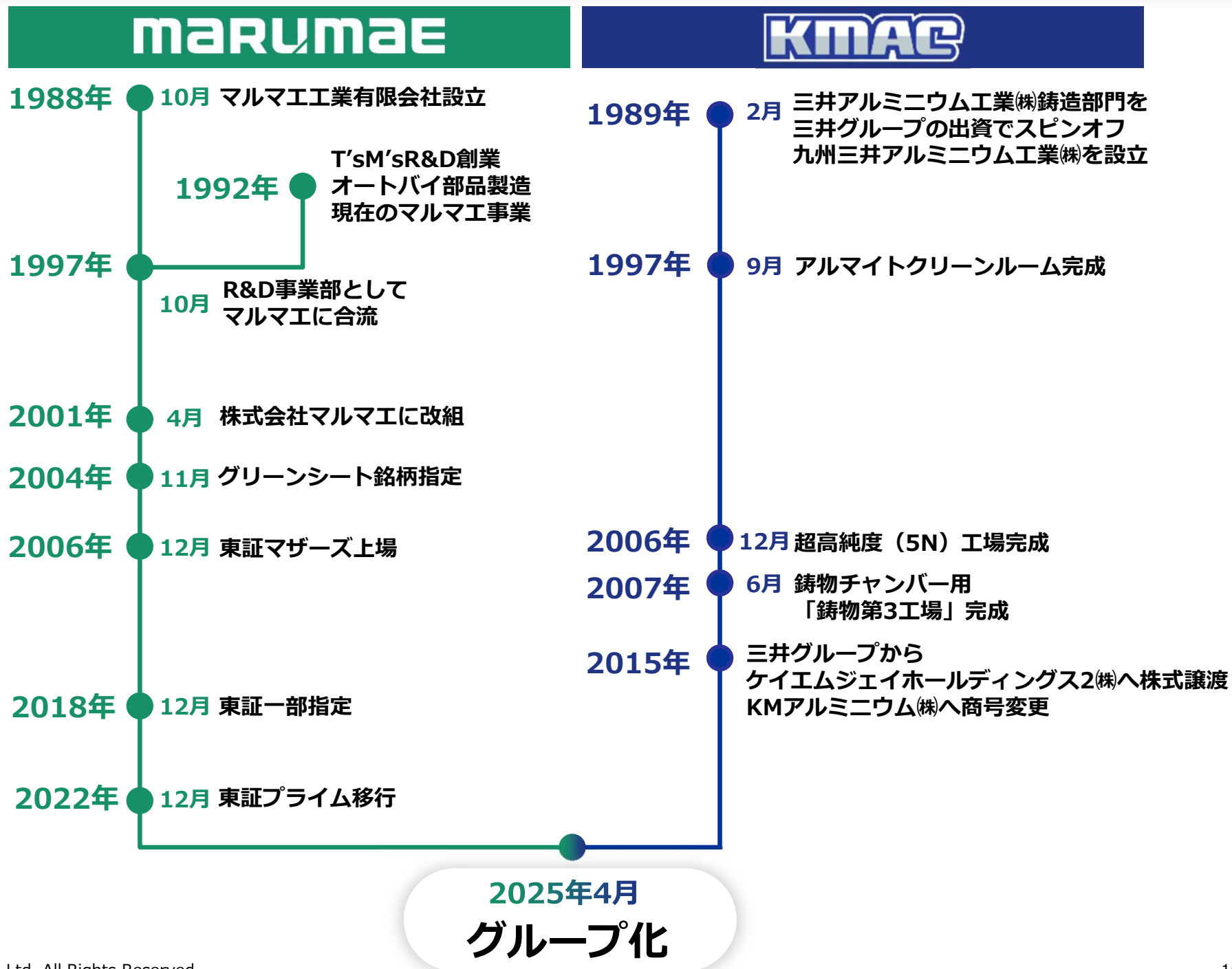


※設備投資額はFY2025までキャッシュフローベース、FY2026は取得ベース
 ※FY2024以前は単体決算数値
 ※FY2025KMAC事業は2025年4月～2025年8月の数値

私達は持続可能な経営を念頭に
技術で社会貢献できる企業を目指します

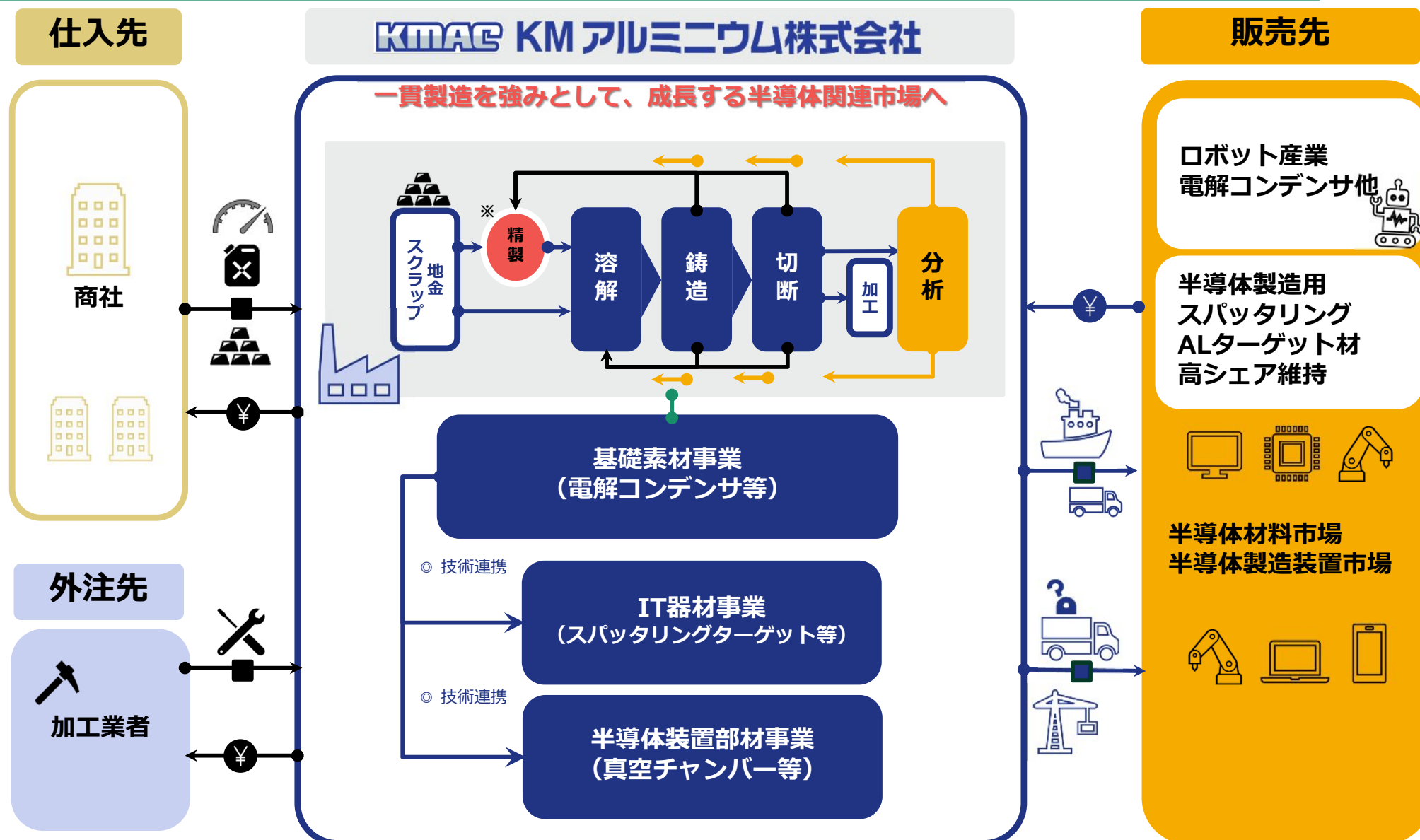
Company Profile

沿革



機能材料（KMAC）事業モデル

永年の一貫製造で培われた総合力・シナジーを背景に、成長する半導体関連市場へ



※精製（純化）技術・・・偏析法的一种であるペシネー法により、アルミニウムの純度を上げる世界でも有数の技術。

機能材料（KMAC）事業モデル

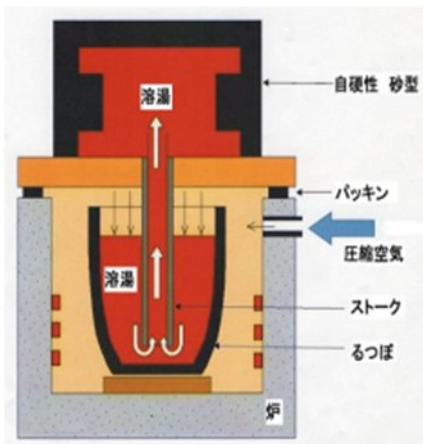
永年の一貫製造で培われた総合力・シナジーを背景に、成長する半導体関連市場へ

半導体向け真空チャンバー当社の優位性

背景

- 装置大型化とチャンバー搭載数増加
- 一般的に切削チャンバーは歩留り低くコスト高

低圧鑄造技術を駆使し
低コスト且つ高品質の鑄物製品供給



【低圧鑄造の仕組み】

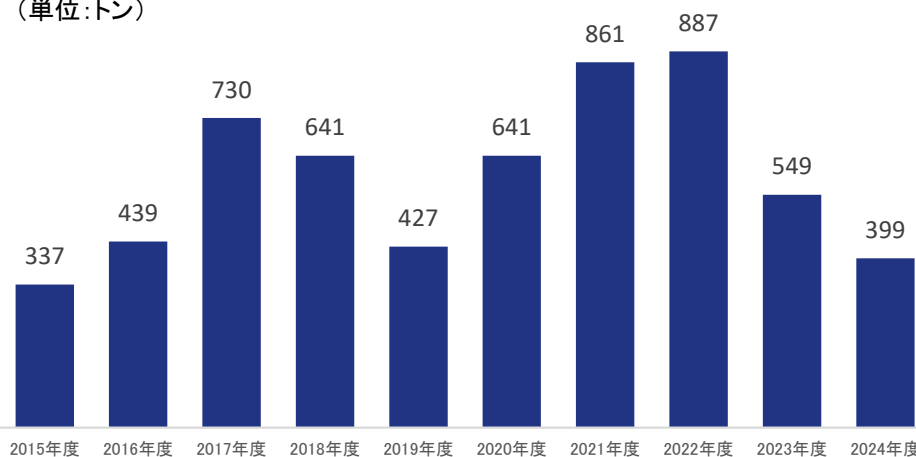
- ① 素材からの一貫製造を行っているため大型溶解炉・鑄造炉等の設備・インフラ保有
- ② 成分分析ノウハウを活用し、鑄物用合金を開発
- ③ 素材製造で培った溶湯管理技術

技術

- KMACでは、400kg以上の大型低圧鑄物製品の提供が可能！！

KMAC真空チャンバー販売量推移

(単位:トン)

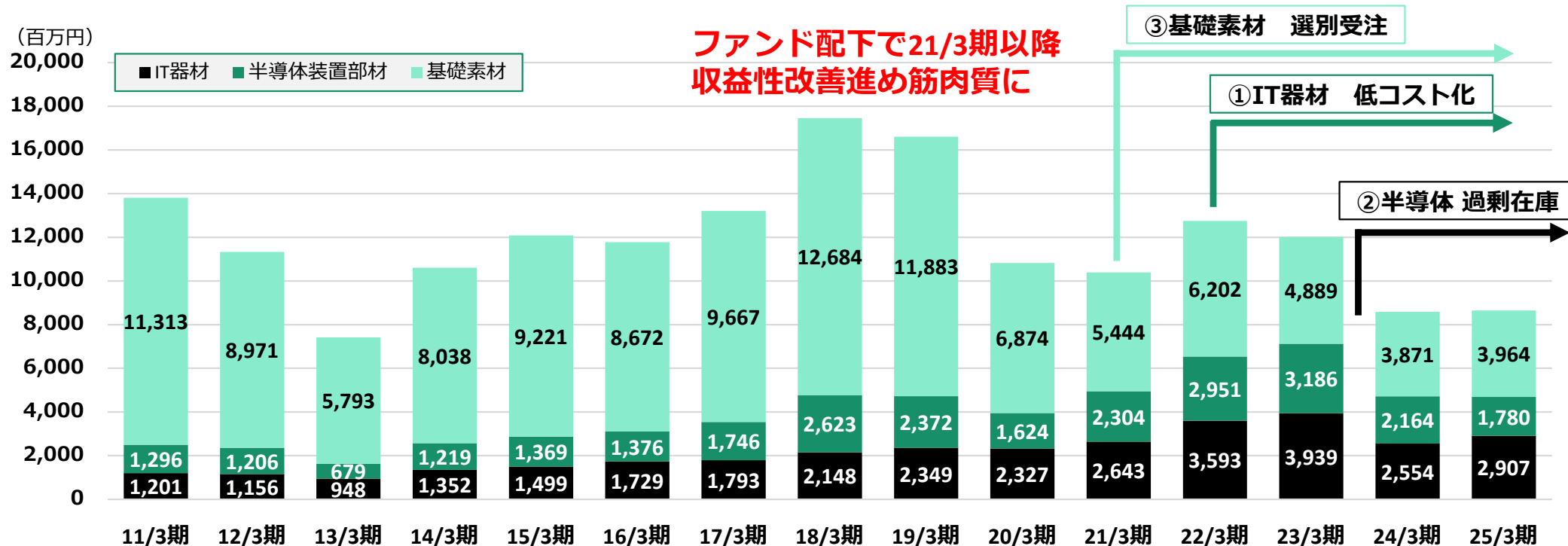


KMAC

近年は在庫調整影響受け
一時的な減少中
今後は、半導体装置需要増に加え、
低コスト且つ高品位の強みを活かし
新規顧客拡販中

機能材料（KMAC）事業 過年度業績

業績推移（機能材料事業）



Point

IT 器材

自社精製強化で競争力強化 高収益

- ・主にターゲット材向け消耗材
- ・22/3期以降の低コスト活動で高利益率化

半導体 装置部材

WFE市場に連動 高収益

- ・主に半導体エッチング装置の真空チャンバー
- ・24/3期以降は客先過剰在庫の影響続く

基礎 素材

戦略的に低付加価値受注を低減 基盤

- ・現在は主に電解コンデンサ用やハードディスク用高純度アルミ。アルミスラブ材の小口販売も行う
- ・2021年以降の市況停滞期に選別受注本格化
- ・限界利益率は35%程度にとどまるが21/3期以前に比べ大幅改善

精密部品（マルマエ）事業モデル

顧客の主要工程・主要製品

当社製品は半導体・FPD製造装置の心臓部を支えています



主要工程（半導体）	エッチング CVD コータ/デベロッパ 洗浄
（FPD）	エッチング CVD コータ/デベロッパ スパッタ 洗浄 イオン注入
主要製品	真空チャンバー シャワーヘッド 排気板 静電チャック ヒーター類 上部電極 ターゲット 搬送系パーツ類 各種真空パーツ類

※画像はイメージです

参考資料（会社概要）

会社名	株式会社マルマエ（Marumae Co., Ltd.）		
設立	1988年10月		
資本金	12億4,115万円（2025年11月30日現在）		
代表者	代表取締役社長 前田 俊一		
連結子会社	株式会社KMX、KMアルミニウム株式会社		
総従業員数 （連結）	611名（2025年11月30日現在） 他 派遣社員59名		
グループ 所在地	出水事業所 （本社）	〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地	
	高尾野事業所	〒899-0401 鹿児島県出水市高尾野町大久保 3816番41	
	関東事業所	〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-17-15	
	KMアルミニウム 株式会社 （本社 工場）	〒836-0067 福岡県大牟田市四山町80番地	
グループ 事業内容	株式会社マルマエ ・精密機械、精密機器の設計、製造、加工、組立 ・精密機械部品の設計及び製作 ・産業及び医療機械器具の設計、製造、販売 ・精密機械部品及び機械装置の点検、修理 ・ソフトウェアの開発、販売 ・製缶工事 ・配管工事 ・運送業務 ・不動産の賃貸		
	KMアルミニウム株式会社 ・アルミニウムのインゴット、ビレット、スラブ、合金の製造・販売 ・高純度アルミニウム地金の製造・販売 ・建具・板金工事業 ・前各号に付帯関連する一切の事業		

発行済株式総数		13,053,000株
単元株式数		100株
株主総数		12,632名
大株主 （普通株式）	前田 俊一	4,449,011株
	日本マスタートラスト信託銀行 株式会社（信託口）	788,800株
	前田 美佐子	504,000株
	BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) （常任代理人）	241,964株
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	200,600株
	前田 良子	180,000株
	五十嵐 光栄	169,000株
	マルマエ共栄会	109,500株
	BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS （常任代理人）	95,988株
	大境 宏良	93,000株
（注）自己株式が390,706株あります。 （2025年8月31日現在）		

注意事項

本資料に掲載された情報、及び、口頭によって説明された実現していない内容に関しては、ある一定の仮定の元に予想された見通しであり、当グループ経営陣の判断など不確実要素を含んでおります。

本資料は、株主・投資家などの皆様に当グループの現況と経営方針をご理解いただくために作成されたものであり、利用者に対して、当社株式の購入・売却など直接的な投資判断を提供するものではありません。投資に関しての責任は負いません。

数値などの情報には注意をはらっておりますが、掲載の内容については未監査の数値も多く、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報、またはその誤りについて、その理由に関わらず、当グループは一切責任を負うものではありません。

お問い合わせはこちら

株式会社マルマエ 管理本部管理部人事・企画課 IR担当

TEL 0996-68-1140 FAX 0996-68-1151

Mail ir@marumae.com

▲ 出水事業所

〒899-0216 鹿児島県出水市大野原町2141番地

<https://www.marumae.com/index.html>

道を究め、未知に挑む。

marumae



道を究め、未知に挑む。

marumae

